まき
発行所
西蒲原郡
巻町公民館
編集人
北川郡司
印刷所
北洋印刷株式会社
（西蒲・巻町・電話204）番

みたままの記

PTAは果して不振でしようか

公民館弘報部

葉萱場部落母子常会をみて

葉萱場部落の子供達の校外生活指導の一つの行き方として母子常会が非常に大きな役割を果しているという事はかねてから耳にして居りましたが、其の実際を見学に去る六月十四日午後小学校の遠藤南須原両先生に、PTA役員の久保田ししさんと俄か記者二名の五人が会場である葉萱場の鳳島仁五郎氏宅へ伺いました。母親側十三人、分團に入つている三年以上の子供十五人皆ニコ〳〵と迎えて下さる。

最初遠藤先生から、今日の常會が学校と母親と公民館の三者一体の希望によつて開かれたのだから、皆さんの立派な仕事振りを見て貰つて町全体の空気を良い方向に引つぱつていきたい。という御挨拶につづいて、今日は第三回の反省会であるが、第一回目は言葉の改善、次は遊び場でした。これについて話し合いましよう。

母A「お父さん、お母さん、おぢいさん、おばあさんと部落中の者が、よばれる様になるに一ヶ月かかりましたが完全に直りました」

B「遊び場は有効に使われてます。畑荒しは無くなりましたし、大きい子供はよく小さい子供を見てくれるので安心して居られます」

C「部落の人々が理解してよく協力してくれました。資金の面での協力もうまく出来ましたが、その前としても仲良く遊ばねばなりません」

―遊び場に何と何が出来ましたか―

子供A「ブランコ、シーソー、ピンポン台は大きな家の納屋へおいて雨の降つた日はそこで遊びます」

―其の遊び場の使い方の反省はありませんか―

子供B「小さな子供の使つてるのを取つて使つたこも居りましたが今はありません」

A「けんかをしなくなりましたし、使つた後は必ず代る〳〵掃除をします」

―困つたことは―

A「中学生が野球をしてボールをぶつつけたこともありましたが今度中学生も一諸の常会を開かうと思います」

―新らしく計画して、お母さん方と相談したいことはありませんか―

A「遊び場を作つてもらつた御禮にお母さんを達をおよびして、色々な藝など見てもらうたのしみ会を開きたいことと子供図書室を作りたいことです」

子供達の活潑な申出に対して、色々相談が進められた。それでどうやらたのしみ会は具体化してきたが、子供図書室は簡単に実現されそうもなく次回にする。

―お母さん達何か御質問はありませんか―

母「漫画ばかり見ているのはどうかと思います」「勉強をする様に宿題を出して下さい」「勉強に對する刺戟を与えて下さい」

―心配しないでもいいのではないですか、それよりも一日の内に時間をきめて各々がつとめてやりましよう。―

最後に登校時間を打合せて、今日の約束は言葉使いを一歩進めて「あのノシ」「オレ、オフ」を無くしましようと前進して時間もせまつたので散会にしました。

歸路お宮の境内の遊び場を見せていただく

今日の常会を見て、この部落がよくここまで進んできたのも子供達の中に聰明なリーダーが居てうまく引きしめていることと、お母さん達の境遇、つまり職業が同じで、忙しくて暇は無いが、子供達だけはよく育てたい熱意が燃えて一丸となつて居る團結心を実に立派だと思つた。〔山岸長沼〕

明るい集會

時間厳守運動展開

集会時に於ける時間厳守運動をかけ声だけでなく強力に推進めたらどうかと、去る二十七日、各種團体（十五）に呼びかけた。其の中十二團体の賛成を得て今後の運動方針などについて協議した。

一、広く各種の集会状況を公民館報に発表する

二、この運動の趣旨を印刷し、各団体に配付する

三、集会案内に開会時は勿論のこと予定閉会時も記入する

四、定數によるものは時間が来てもそれに充たない場合は何回でも流会する

五、各団体に連絡員をおき、その団体の集会状況を正しく連絡する

六、各集会案内に軽い標語を記入する等を決定散会した。

尚この会に出席しなかつた議會、民生委員會より手違から出席出来なかつた旨連絡があつた。

時間厳守こそ生活改善の第一歩だと思います又あなたの遅刻か、その會の雰囲氣をこわしときには流会になつたりいたします。明るい集會こそ一人一人の注意にあるようです。

―○―

六月の集会状況

（日、達れた時間、開会予定）

折たゝみもの　一日し　五日　五分　七時半

体協役員会　八日　一八分　七時半

教育委員会　十日　五分　九時

珠算講座　十八日　〇分　七時

讀書会　二十一日　五〇分　七時半

弘報部の会議　二十四日　一〇分　七時半

体育部の会議　二十六日　五分　七時半

時間厳守打合會　二十七日　〇分　七時半

小中後援會　二十八日　三〇分　七時半

町議会　二十九日　四五分　一時

議会だより

六月三日

六月十二日厚生委員会

六月二五日

六月二十四日　水道委員會

六月二十九日　六月定例会　出席二十三名　欠席　三名

主なる議決事項は左の通りである。

昭和二十八年度巻町歳入歳出第三回追加更正予算

予算累計　四,四〇八,〇〇〇円

巻町監査委員中、議会代表の任期が切れたので井沢一二議員が選任された。

国民健康保険税徴收の割合を次の通り定めた

所得税割	三五%
資産割	一五%
人頭割	三五%
平均割	一五%

菱の実

ある新らしい国会議員が、國会の感想を新聞社に求められその答に曰く、大切な委員会であるのに定刻迄に集つた議員が僅か二名であつて何んとしても開会する事が出来なかつた全く不眞面目なのにあきれて了つた云々と、それ程不勉強なのかと云われても仕方のない國會議員が、歳費滞在費の御手盛値上案を取りあげて俄然世論の的となつた。しからばその收入はどうかと云うにアメリカの国會議員よりは少し安けれ共英國よりも高く獨逸よりも多く又、大学教授の十倍以上の收入を取つているのである。

政府は国民に對して、耐乏生活を強いている昨今、値上はもつて外だ。ある政党の幹事長の云つている、百二十万もの官公労が座り込みをしても僅かな値上が仲々きまらないのに僅か七百余の議員が一人当り四万円もの高額をあつと云う間にせしめると云うのは世論の沸騰は当然である。いやしくも国會議員である以上自分の懐ろよりまず國民生活の安定を第一に考えるべきではあるまいか。

回答はがき

楽しかるべきお祭に

金子与一郎十二区

一①山車、みこしの妨げにならぬ露店商の整理
②祭三、四日前にDDTを撒布して明るい卷町大祭にしたい

古寺龍二郎　七区

一①祭の行事に関し時間の励行
②卷の祭を喜びと、感謝を持つて迎えられる様な催しものを計画
③御興渡御に際し、厳粛の中にも又納得の出来る行列

二①寄附の強要
②野卑な言動
③父兄は協力、子供中心とした催

揖斐　正男　五区

一①大祭を文化祭、商工祭と共にして町を一層賑やかにしてもらいたい
②町から少しでも補助金を出し、各区の山車もいろいろ工夫し山車のコンクールをやつてもらいたい

二①山車に出る人達が酒によつぱらつているのはよくないと思う。出来るだけ道中は止して終つてからやつたら
②だんご作りなど大変金がかかると思いますが、急に止める事も出来ないと思うが何んとか改めたら
③カグラが今二つ出ているが一つに改めたら

田畑定之　十一区

一①商店街からも団体で山車及みこしの参加を願いたい
②芸妓組合の方からも祭日の催に参加を願いたい

二①祭日の呼物山車はもう少し進歩的な山車に改めたい
②祭日の踊（盆踊と同じく）もう少し直すか新踊の卷甚句に改正したい
③祭ばやし、祭音頭も聞苦しくないものに改めたい

石塚徹雄　十三区

一、山車を毎年作つているが、山車を作る金を決めて一等、二等などときめ、優勝旗のようなものを出して伝統的にしたらどうか

二①花火を止めて、その金をプールを作る資金としたらどうか
②山車を引つぱる人の化粧について、白粉などつけず素顔でしたら良いのではないか

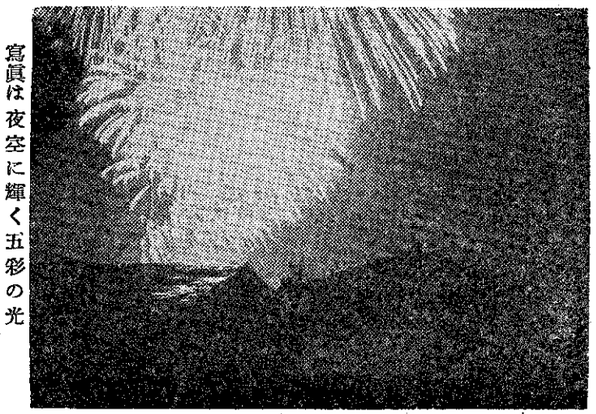
水倉六郎　十二区

一、敗戰後無神論も出たが獨立国として起つた今日敬神を新にするために郷土の神社の歴史や其の行列の格式等、お祭をする前に郷土民に好く認識してもらつて心からのお祭を行つて欲しい

二①露店商へのお願いタタキ屋の押売的な商売は反省して戴きたい
②お祭は賑かであつて欲しいが、与太者の喧嘩はお互に迷惑、止めて戴きたい

幸田マチ　十四区

一、全て時局柄経費のかかる事とて是非とも言兼ねますが、郡都として一年一回の夏祭を愉楽せんとするに
①街の装飾美化例えば二の丁銀座の軒灯の如く各町内毎に造花の挿花でも竹の筐に短冊でも夜街灯を直しもつと明るく
②山車の興隆近時だんだん数が少なくなり淋しい山車が無かつたら興趣が半減すると思う。奮つて町内毎に時代センスを盛つた山車を



宮眞は夜空に輝く五彩の光

③各商店会の仮装行列（お供）

専門、優良、サービスの外、各商店会の英断による

二①スターマイン外特殊煙火を今少し早目に上げて貰いませんか。折角楽しみに待つている子供が寝入つて可愛想又夜更をする
②兒童の教育上面白からぬ見世物、飲物は何んとかならぬか

長沼邦男　十三区

一①悪徳商人（見えすいたヤシ）のとりしまり
②公民館で祭についての歴史的展示會をひらく

二①大衆の楽しい祭が大人の人の下品なる言動によつて不快になるから、もつと上品な唄やおどりを取り入れる
②慮楽心の満足のための金銭の浪費

本間竹三郎　七区

一①花火は午後十時半迄に終了する様にしてもらいたい
②山車は子供を中心に出す様にしてもらいたい

二①下品な山車の「はやし」は止めてもらいたい

井沢　一二　二区

一①青年相撲、体位向上
②風紀を紊す山車引きの拍子改善

山田　助蔵　一区

二①祭日を舊に復したい。六月十五日にして頂きたい（一区の声）
②煙火終了は十時三十分頃にする

八木沢初雲　三区

一、大衆のレクリエーションとして盛大に行つて欲しい。

二①強制寄附はやめて町として考慮してもらいたい
②祭の踊りはもつと青年らしくすつきりとした姿をのぞむ
③祭は計画的に皆んなが楽しめるように

佐藤七一郎　四区

一①御興のお供の服装を良くしてほしい

二①七月のお祭を六月に繰上げては如何
②煙火を西東の打揚を一ケ所にして三寸の小玉を四寸以上にし数量よりも質の良いものを

栃倉千代乃　三区

一①樽御興はお祭気分をよく表しているので今後ともずつとつづけてほしい

二①梅雨期で衛生上も悪い七月を止めてほんとの六月に改めてほしい
②お祭の行列は賑やかなのも良いですが、もう少し落着いた奥床しさがほしいようです

劇研寸評

久方振りで三十日夜卷劇研の公演を見せてもらつた。前の公演からみて演技の進歩が見られないのは練習不足のせいかも知れないが、もつと脚本と取くんで『味』を出してもらいたかつた。この責任の一半は演出家にあるとも言い得る。然しおぼえがきにもある通り鈴木先生の舞台装置はもつたいない程あかぬけがしていた。

『次郎案山子』平凡。演技の拙劣さが特に目立つた。『霜夜狸』これは再演のようだがむしろこの前の公演がよかつたように思われる山小屋の物語としては装置が余りにきれいすぎる。照明も明るすぎたので折角の河合、田村両君の演技をマイナスにした。一考を要する。狸のハツビ姿はどうかと思う。装置の季節的変化と祭囃子の抑揚があつて欲しかつた。この劇をみながら昔みた『息子』の松助と菊五郎の名演技を思い出していた。『麥踏み』大岩君以外女の方にもう少し発声法を研究していただきたい。妄言多謝。（渡辺）

◇原稿募集

町民の声・随筆・小品文・短歌・俳句・詩その他（いづれも原稿用紙使用のこと）

宛先　公民館弘報部

（選擇については公民館弘報部にお委せ下さい）

時間厳守で明るい集会

公民館運営審議會では、みんなの費用辨償で年に一、二回夕食を共にするのが例になつてしまつた。

公民館までもか……

との御非難も承つたが宴会というものが『ひとびとが日常の交際をより親しいものとして明日へ持ち続けようとする』ものとされるなら、その正しい在り方を研究するのもまた社會教育の一つの仕事ではあるまいかと、私だけは正直そう思つている。そしてそこでは誰も酒の無理強いをされず一人二人の特定の人だけが歌つたりさわいだりすることなしにみんな代る〳〵か或は一しよに踊つたり歌つたりしているのである。

このように二十人たらずの会なら『代る代る』も『いつしよに』も出来るけれども、これが町全体のような多人数のことになると不可能なことはあたりまえなので、当然そこに代表とか選手とか指導者とかが出て来なければならない。邦楽協会の発表会も劇研の公演もこうした点からもまた考えられるのではあるまいか。

勿論選手とか代表だからその方面でわれわれより上手でなければならないが、それ以上その人達の平生でもやはり噂などのない方がいいのだし、またやる時は、まじめに一生懸命にやつて頂かねばならない。商売人のわるい癖ばかり真似しているようなのは困るのである。

さて祭も間近に迫つたのだが、まつりのたのしみの頂点は神樂や山車であるからこの連中もまたわれわれ町民のたのしみへの指導者と目されるので上手にたのしませて頂きたいものである。卑猥な言語の連呼を唯一の手段とする如き指導者はまつぴら御免被りたい。

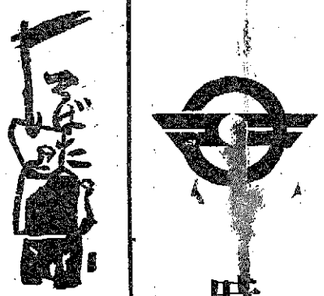
盆おどりの踊子連中もまた然りである。由来われわれ日本人はあそびを軽蔑し時には罪悪視さえして来たのであるが、あそびも人生の大きな場を占めるのだから、みんなでどうしたらもつともたのしく能率的にあそべるかを研究する必要があると思われる。そしてあそびながら仂いたり働きながらあそぶのでなく、あそぶ時はよくあそび、働く時はよく仂く慣習をお互に身につけたいものである。

そして更に出来得べくんば流行歌を口ずさむことによつて孤獨への哀愁にひたろうとするようなことなく、みんなで明るくたのしくあそべるあそびをあそびたいものである。

（括弧内は岩波新書『民衆と演藝』による）

『あそび』

齋藤順作



公民館

御存知のように公民館には職員が一人なのでチョイ〳〵留守にせざるを得ないような狀態であり、又本の整理も修理も手がまわらないので、本をお借れになる方もついのんびりして、返すのがおくれるのだろうか、これでは、と思つて、留守の間は鍵をかけようと決心したが、審議会で、今少し町の方々を信用しようというので鍵をかけるのは否決になつたが、その代りでもないが、新しく買入れた本は半月か一ケ月、二階の書棚において館内でのみ讀んでいただくことにした。

「團体から」のおたより

そしてこうして書棚の前で讀む癖をつけて頂けたら、我々図書部の連中の年来の念願である『町立図書館』建設への氣運も出てくるのではないか、などと考えている次第、よろしく御諒承願います（S）

寄贈図書

上原甲子郎氏
ガダルカナル日記
第二藝術論
黄河の水
知識人の肖像
インテリゲンチャ
六号室

高橋　哲男氏
中橋公館
彼女達と夫達
日本敗戰記
日本科学史
のんき哲学

婦人会

齋藤　貞一氏
開拓村の子供

去る十五日夜第三火曜に初めての花道講座を徹水先生の指導の下に開いたが、参会者三十三名、賑やかに和かに初歩の花道を習いました。今後共第一と第三の夜八時に開きますから皆様誘合せて参加して下さい。

廿一日日曜日の午後一時高校家事室で卷保健所の榮養士折戸先生から家庭向料理を御指導願つた。マヨネーズ野菜サラダ、ライス物一皿、簡単に出来て榮養充分で食べておいしいお料理をならつて、家庭生活をより明るくができたことで評判がよかつたのを感謝します。

七月五日西蒲原郡婦人会総會を燕小学校で開き役員改選の結果

会長　倉品千代　卷
副会長　松村あい　卷
仝　本田つい　和納
仝　木口むつ　黒埼
幹事　西川てる　卷
仝　後藤さゆ　岩室
通信　高島初枝　卷
記録　石塚松代　卷

に決定し、終つて新潟医大から山内先生の御出を願つて法医学の御話をきく、参会者一千五百名の婦人連中が常日頃家庭や野良に閉ぢこもつては居るけれど今日ばかりは、法醫学とはどんなものであるか、日に日に進んでゆく科学の偉大さを聞かせられて正しく物を見て判断せなければならないものだと勉強させられその收穫は得がたいものだつた。

午後のレクリエーションは十六ケ町村腕によりをかけた藝くらべ、悪かろうはすまはなく、満場の拍手と万雷の歡声に演藝を充分堪能したことである。

『今日位盛大な女の会合を見たことはない』と燕町長の祝辞は満更お世辞でもなくこの日は燕町を女で埋めた。

卷小子供会

去る六月廿六日私達は左記のことについて相談しました。

一、音樂会、ドッヂボール大会の反省

○係の人がよく仂き、練習の仕方や出た人は大変よかつたが、見ている人、応援する人がさわがしくて悪かつた、

二、七月の目標は『暑さにまけずきまりよい生活』

三、七月の行事として海水浴、お祭の作品展を開くことについていろいろ決めました。

六の一　佐藤　敦

農家

去る一日みのり会青年部で農協の空地をお借りして造つた花を町の諸官庁におくばりしたすさんだ心を花により慰められ、和やかな氣分が少しでも得られたら幸と思つている。

最近思うこと

言葉づかいのよいのは本当に感じのよいものである。去る十四日蓮萱場に母子と先生の会があるが行かないかと公民館の主事さんに言われて早速弘報部の方々と行つて見る。

施設と言い又集つた人達の言葉づかいと言い実にきれいなのには感じさせられた。（詳しい事は弘報部で書く）言葉づかいがよくなると自然、行も亂儀も正しくなるのではないでしようか。この町の若い世代の方々、他町村の人達に笑われない様な言語、動作に気をつけて郡都巻町の名を恥かしめないようにして頂きたい。又お父さんお母さん方は子供さんが学校から言葉を改める様にと言われ家へ歸つて『お父さん、お母さん』と呼んだ場合『おらうちはそんがのもん居ない』なぞ言わずにすなをに返事をして頂きたいと思う。必要以上な馬鹿丁寧な言葉はどうかと思うが『お父さん、お母さん』位の言葉は是非つかいたいものである。

とかく卷の人達は『おらすれば』とよく言われますが國民平等の今日、農家だから——と言うような事を除々に改め、この辺で『おらずれ』を返上したいと思う。

この町にも子供や青年の娯樂施設として例えば上中下のお宮あたりを開放してプランコ、すべり台等を備え又青年には、せまくとも集会所としての公民館の分館を設け図書とか碁、將棋、卓球台などを備いてもらいたいと思うのは私だけでないと思います。

（久保田とし）

生徒見聞

佐藤美子

「何かこれ」と云われて大急ぎで頭の中を整理してみるのだが他愛ない女学生時代のことはさておき、家庭をもつてからの十年間は余りにも記憶に生々しくてふれにくい。

巻へ行つてから三日目に「ここで一生を送るのかなア」と実に複雑な氣持で役場の通りを歩いたのを今でも思い出す。馴れるにつれてこまやかな人情と共に、静かな河と後にひかえた竹の町山の素朴さが私を落つかせてくれた。あやめ塚から登つて山の斜面に幾十度風の音をききに行つたことだろう。

終戦の頃疎開していた若い人が「町の感じを話したところ、あなたは巻の良さを知らないと一ぺんにやられてしまつた」と苦笑いしていた。疎開者とは多少立場を違えていたが、その人達の氣持が私にも解らなくはなかつた。然し長い間にあした自然の中に成長した町の良さを知つて小さな不満を持ちながら愛着の念をたちきれなかつたのも案外私達ではなかつたろうかと笑つている。

こうして離れてみると無意識の中に自分にしみついた「巻」の匂ひに氣がつく、巻はいろいろな意味で心の中に深い根をはることになるらしい。仕事が終つた時やはり歸つて住みたい町だ。

（武蔵野市西窪三谷二九〇の三四吉五郎方）

子供の疑問

巻小　広井シヅ子

三年生の或る教室で五六人の子供達が青虫の箱をとりかこみながら話合つています。

「この虫がさなぎになるのられあ。」

「どんげにしてなるのらや。」

「糸みたいなのね、体しばつているろ。」

「それからチョウ〳〵になるろ。」

「そんねが、がになるれあ。」

「がとテョウ〳〵とどうちごうんだ。」

「今足がいつぱいあるがんね、こんど何本だろ。」

「前の足と後の足とどうちごうや。」

等聞いていると子供達の疑問は次から次へと発展していきます。

これはほんの或る日の子供達の姿の一こまにすぎませんが、こうした子供達の疑問は至るところに現われるようです。

昨年迄はこの種の疑問も究知心という程の繼続的なものではなく、ただ単に自分達の身近かな事柄の中からポツポツと疑問を持つ位でした。（従つて日常の生活を観察し乍ら。何の系統もなくただ疑を持ちその解決法としても簡単な答のみで満足している様子がみえました）それが進級と共に日常生活に数々の疑問を持ちはじめました

「なぜ、どうしてか」

この疑問、

これは本当に尊い科学心の芽ばえであり又思考力向上の動力となつていく大切な芽ではないかと思います。

この芽ばえは単なる知識を注入するだけで成長していくとは考えられません。

子供達の疑問を導く私達大人の態度が非常に大事になつて来ると思います。子供の質問には具体的な子供の経験に即した実例をもつて答えてやる事が大切ではないでしようか。大人が答だけ急いで与える事はまずいと思います。

子供が自分の経験で自分で判断し得るような形にきりかえてやり、どんな場合でも子供に考えさせる、又比べる作る、等あらゆる仕かけの場を与えて、これらの疑問を正しくのばしていきたいものだと考えます。

巻町海紅句会

六月廿一日　稲島海見寺吟行

農に奉仕の一日私の投げる苗束一つ〳〵正格　紅林子

勤めを去る

別れる事に決り送られる日白ばら一つ　耕人

やはらかな山肌に觸れもするさゝやきもする卯月は　金剛

三つの鐘への共感から細めの胡瓜に味噌をつける　木魚

陽もれありわが呼吸ふかくする新竹も枝張り　曙山

讀書室

西川宇明

池本喜三夫著　フランス農村物語

読んだ本について、何か書けとの事ですが最近は余り本を読まないし、特に印象に残つたものがありませんが、しいて印象に残つた本としては、フランス農村物語があります。

この本は文化、経済教育の、あらゆる面から日本のそれと比較して書いてあり、よくフランスが理解されると同時に現在の日本の文化が、いかにアメリカの成りあがり的文化を眞似て自分、本来の伝統をうちこわして得意な顔をしているかということがわかります。

特に教育の方面には痛い所をつつかれるようで仲々面白く読めました。

【抜書・聞書・覺書】

御一新前後（続）

四、資料

覺

一、縊死人　壹人

一、年齢三十五六歳

一、中肉中背面体浅黑く

一、唇薄く鼻上に黑痣有

一、眉毛濃く月代濃き方

一、髪毛黑き方

――衣類略――

一、褌壹切

一、魚庖丁壹挺

〆

右のもの当月三日夜村地内におゐて縊死罷有に付……心当りのもの有之候は早速可被申出候　以上

辰八月　巻村役人

これは『官軍様御下向諸用留』（慶応四辰年八月、巻會所）に書かれている一節だが、前に吉川氏の話された首くくりのことだと思われる。この他

書上覺

一、正徳寺隠居

……略……

此もの陰陽道内職仕加茂辺に罷去、米沢御祈願等願居候趣に御座候

一、正徳寺門前住居　亀蔵

一、舘屋正助借家　友蔵

一、百姓喜助借家　庄之助

右三人のもの共米沢差手組罷出候趣六月中家出仕候此段御達奉申上候以上

八月四日　巻村役人（齋藤）

別れ

石田節之助

またの日の逢ひはなからむ病む君を埠頭に送りき別れんとす

ややしばし面伏せがてて言もなく泣きゐむ君に心みだるる

黑髪の色褪せみだれ貌蒼白くくぼみしめなのただ清くすむ

永病めばなべてしかりかやつれ果てし君の容姿の哀しきかなや

ひとたびは必ず癒えて教壇に立つてふ君の声のとぎれつ

この病ひ不治とは知れど人の世になほ在りたしと君は又慟哭く

出航のドラの響きにわびしくも強いてゑまひしやむなき憫憐れ

乱髪風になびかし涙ぐみふたたび逢ひぬきみは去りゆく

きみが船波をくだきて遠ふざかる鷗啼きとぶ海路はるかに

別れきてひとりし歸る夕昏を青葉若葉に雨ほそく降る

弔

酒井　仁司氏（三五）　一区　五月二十日

関田　タカ氏（七四）　五区　五月廿六日

大瀧ヲシ子氏（〇）　十二区　六月三日

渡辺　健一氏（一）　十二区　六月四日

金子　岩男氏（三）　十区　六月五日

長谷川幸子氏（五）　十三区　六月六日

長津　俊章氏（四）　六区　六月八日

笹川　サキ氏（八〇）　十二区　六月八日

田辺　ナミ氏（六二）　五区　六月廿日

大越富士雄氏（〇）　十区　六月十六日

沢栗　トリ氏（四〇）　七区　六月廿二日

竹石伝次郎氏（七〇）　十区　六月廿五日